

かがやく

第21号
2016.9発行
編集/発行
ハーモニーひたちなか
ひたちなか市女性生活課

ハーモニーひたちなか

高校生と対談

ハーモニーひたちなか編集委員は若い世代が男女共同参画をどう考えているか知るため、ボランティア活動をしているひたちなか市高校生会の皆さんと懇談会を行いました。



▲5月27日、ひたちなか市男女共同参画センターにて

取材に協力いただいたのは、ひたちなか市高校生会に所属している高校生です。

ひたちなか市高校生会は、男性3人、女性13人計16人で活動をしています。活動内容は、子ども会の行事のお手伝いをしたり、市が主催する児童を対象とした事業（洋上学習・自然体験キャンプ等）や、地域で実施される事業（コミセンまつり・産業交流フェア等）にも参加しています。

活動を通して社会参加し、様々な年齢の方と会話する機会があるためなのでしようか、高校生会のメンバーは日頃の生活で感じていることをしっかりと伝えてくれました。

これから社会に出ていく高校生は、「生活のこと」や「将来のこと」をどのように考えているのか、身近なテーマを話すことで、男女共同参画についての高校生の本音を聞くことができました。



〈裏面に続く〉

高校生



編集委員



高校生会では、入会すると全員にキャンプネームを付けるそうです。今回は、ぺん汰さん、りらさん、シナさんの3人に参加していただきました。編集委員からのいろいろな問いかけに、それぞれが自分の思いを話してくれました。

家庭での分担は

- ぺん汰** 料理は母が作ります。母が遅くまでの仕事をはじめから、兄と私で弟の分も作っています。
- りら** うちも母です。部活の無い日は私も夜ご飯を作ります。お風呂掃除は弟です。
- シナ** 父は殆どなにもやりませんが、たまに家の掃除をすることがあります。

どんな仕事に就きたいですか

- ぺん汰** 保育士とか小学校の教師になりたいです。
- りら** 事務職に就きたいです。できたら市役所に。
- シナ** 看護師とか助産師さんになりたいです。大きな病院で働きたいです。

結婚したいと思いますか

全員 20代でしたいです。

理想の結婚相手は

- ぺん汰** 意見をきちんと持っている人。周りを見てくれる人がいいです。子育てに協力してくれない人は嫌です。
- りら** 素直な人。何でも言ってくれる人。休みの日は家事を手伝ってくれる人がいいです。
- シナ** 子どものことを一番に考えてくれる人がいいです。

仕事は続けたいですか

- ぺん汰** 続けたいです。旦那さんにも家で料理を作ってもらいたい。
- りら** 続けたいと思うが、子どもがいたら難しいかと思えます。再就職はお給料が下がっちゃう！
- シナ** 続けたいです。

結婚相手に仕事を「辞めて」といわれたら

- ぺん汰** 辞めないです。頼り切りは嫌だから。
- りら** 辞めちゃいます。家庭に入ることに抵抗は無いです。
- シナ** 仕事が充実していたら辞めません。母親は働いていません。

就職は県内、県外どちらを希望ですか

- ぺん汰** 県南（つくば）です。母には海外に行ったらとも言われています。
- りら** 茨城は出るなど言われています。
- シナ** 大学病院みたいな大きなところで働きたいので県外になります。

男女平等についてどう思いますか

- ぺん汰** 家では平等だと思います。父にも家の仕事を振り分けています。
- りら** 体育祭で女子にハンディをつけているので男子は不平等に思っているのでは。
- シナ** 家事をしない父は引き継がれているのかもしれませんが。自分は断ち切りたいです。

女性もリーダーシップを取れますか

全員 とれると思います。

現在は男女共学が多数ですが、男女が協力しながら学校生活を送る様子がうかがわれました。生徒会長も最近では、女子が多いとのこと。今回参加のぺん汰さん、りらさん、シナさんもしっかりと自分の思いを発信することができ、とても頼もしく感じました。



平成 28 年度

ハーモニーひたちなか総会開催

日にち 5月12日(木) ところ 男女共同参画センター



参加13団体より34名の出席で総会が開催されました。

前年度事業・決算報告が承認され、新年度事業計画・予算も承認されました。

議事終了後、茨城キリスト教大学・中島美那子先生の講話「変わる教育、地域社会」をお聞きしました。

講師のお話では「これから数年のうちに学力評価の仕方が変わるなかで、これまで重視されてきた暗記する力より創造力・思考力・判断力が必要となります。さらに社会でよりよく生きていくために、自立した人間として他者と協働する力、

表現する力、社会参画への意欲も必要になるかと思えます」とのこと。そして、学校や家庭でも教育力に期待し希望を持ちつつ、私たち地域の大人が子どもの育ちへの支援、子育て世代との協働によって保護者自身の創造力等を引き出し、活かすことができるかと提案されました。また、ご自身が関わっている大学内での地域連携センター活動、常陸太田市NPO法人「結」の活動を例にあげ、まだ地域の力でできることがあるとも語られました。

今回の講話は、次世代との協働活動の繋がり方を皆で考える貴重な時間となりました。



男女共同参画講座



好きを見つけて

一歩ふみ出そう

～ドリームマップを作ってみよう～

日にち 5月11日(水) 5月18日(水) (全2回)

ところ 男女共同参画センター

講師 結城 実喜さん

(一般社団法人) ドリームマップ普及協会理事

1回目の講座は、3年、5年、10年先の「なりたい自分をイメージする」ことから始まります。

まず、テーブルごとに、今までの人生を振り返って、頑張った私、嬉しかった出来事、好きな自分など「出来る自分」を見つけ出し、次にこれから目指したい夢を語り合います。内容は、家庭や地域のこと、また、汚染問題など、地球規模にまで広がり、参加者の弾んだ声が印象的でした。漠然としていた、希望、願望、あこがれを拾い出し言葉にできた一日でした。

2回目は、台紙の上に、文字、写真、切り抜きなどを貼り付け、3年後、10年後の自分を描きます。子どものようにワクワクしながらリアルに目標を想像し作成します。これが「ドリームマップ」です。そのあとは、出来あがったマップを片手に、



山へ挑戦する姿、おしゃれな家と家族、資格を取って社会で活躍する姿など、何年後かの自分になりきって、ポジティブな夢を披露しました。

「ドリームマップ」の作成は、胸の奥にある夢のかけらを繋いで形に現すことです。出来上がったマップを飾ってイキイキとした生活を送りましょう。



素敵な暮らし方 ~シリーズわたしのワーク・ライフ・バランス~ ③

今回は、男性が多い建設業の仕事を家庭と両立しながら、長く続けている高倉建設工業株式会社 取締役会長の高倉真知子さんから寄稿いただきました。

世間知らずの私が建設業界に入って、一番苦労したことは営業活動です。名刺を置くだけが営業の仕事だと思っていたので、相手にもされず受注に結びつきませんでした。そのため仕事がないストレスから入院もしました。目的も持たず仕事の内容も理解せず歩いてきたため、相手にされなかったのは当然でした。「仕事を理解し目的を持つ」というアドバイスを受けて、意識をして仕事をするようになってからは、声をかけていただけるようになり仕事の話もできるようになりました。

土木関係の研修会に参加しても、女性は私一人でした。

「女なのに」と珍しがられたり、「女のくせに」と言われたりすることもありました。しかし、幸いにもそのことを気にする暇もないくらい毎日が必死だったので、大変だとも苦労だとも思わずに過ごしてきました。

どの仕事でも、一生懸命やっていたら女も男もありません。ただ、世間はその業種に男女のイメージを持ち、それが時として仕事の選択の妨げになることもあります。性別の壁をなくし、やりたい仕事に飛び込んでいけるように選択肢が広がる社会になって欲しいです。

お知らせ

ハーモニー写真展へ参加しませんか

家庭、職場、地域などで、性別にこだわることなくいきいきと活動する姿、男女共同参画をイメージする写真を募集しています。応募いただいた写真はハーモニーフェスタ 2016 の会場と男女共同参画センターで展示します。

○募集内容 作品は自作で未発表のもの。肖像権・プライバシー等問題のないものに限り、サービスサイズ（Lサイズ）から六切までのサイズでカラー、モノクロいずれも可。

○応募方法 プリントした写真を郵送又はデータをメールで送信（返却できません）。

※メールで応募される方は、メールの件名に「ハーモニー写真展」と入力し送信してください。また、不着防止のため、応募先まで連絡をいただきますようお願いいたします。

○応募先 男女共同参画センター（下記参照）

○応募締切 9月30日（金）

男女共同参画センターから

11月は男女共同参画強調月間です。

○ハーモニーフェスタ 2016

日時：11/5（土）午前9時から午後3時30分

場所：ひたちなか市総合体育館サブアリーナ

内容：各団体による展示・発表など

○ハーモニーひたちなかフォーラム

日時：11/27（日）午後1時30分から

場所：ワークプラザ勝田大会議室

内容：男女共同参画推進事業所表彰

男女共同参画キャッチフレーズ表彰

講演会

「最後まで私らしく

～人生100年時代のセーフティネットづくり～

講師：中澤まゆみさん

（ノンフィクションライター）

応募・問い合わせは男女共同参画センターまで

〒312-0018 ひたちなか市笹野町2丁目8番2号

TEL&FAX 029-354-0167 E-mail danjo282@juno.ocn.ne.jp



先日運転していた時のこと。私の前にいたゴミ収集車の背に、カモメをデザインした丸いエンブレムがあった。よく見るとローマ字で「立つ鳥あとを濁さず」と入っている。なんてクールなんだと破顔一笑。シャレが効いている。海外ではこんなウイットをとっても大切にする。真面目な話ほど笑いが必要と考える。あのiPS細胞の研究で有名な山中教授も、スピーチの度に笑いのとり方に頭を悩ますそうだ。

不寛容社会といわれる今の日本。うっかり意見をネットにアップすると「炎上」したりする。質の良い笑いで、まづ肩の力を抜いて欲しい。余裕の無い時ほど、それが救いとなるはずだから。（S・M）

編集後記